

3年 K.Yさん

- Q：①なぜ古いみかんの皮が高級品として好まれるのですか。
②みかん以外の柑橘類にもみかんと同じような成分や働きがあるのですか。
③七味でなくみかんの皮を使ったジャムなのでも同じような効果は得られるのですか。
④ノビレチンによるアルツハイマー型認知症への効果というのはどの程度期待できるものなのですか。

K.Yさんの質問への回答

鋭く的確な質問に感心しております。

では、私の考えをもとに回答をさせていただきます。

①なぜ古いみかんの皮が高級品として好まれるのですか。

⇒ みかんには柑橘系の香気成分（シトラス臭）と、今回お話したノビレチンやHMFなどの成分が含まれています。香気成分は2～3年で殆ど飛んでしまいます。しかし、ノビレチンやHMFは比較的安定な化合物で、10年以上分解されずに存在します。

講義の中で、「陳皮は古いものほど良い」と言われている、と話しました。

しかし私の解釈では「古いものも新しいものと遜色なく薬効が期待できる」と読み替えています。つまり、先人たちは経験的に、古いものも薬効があることを知っていたのだと思います。恐るべき先人の知恵だと思います。

②みかん以外の柑橘類にもみかんと同じような成分や働きがあるのですか。

⇒ いい質問ですね。ですので私の研究室では、この疑問に答えるべく、卒論生たちに多種多様な柑橘種の品質研究をテーマに研究してもらっています。

③七味でなくみかんの皮を使ったジャムなどでも同じような効果は得られるのですか。

⇒ 勿論、薬効成分を含んだ素材でしたら、当然、薬効を得られると思います。

マーマレードなど皮を一緒に食することが推奨されます。

④ノビレチンによるアルツハイマー型認知症への効果というのはどの程度期待できるものなのですか。

⇒ 現在、アルツハイマー型認知症に対する治療薬（新薬）はあります。しかし、特効薬ではありません。認知症の進展をある程度抑えるものです。その意味では、ノビレチンと変わりません。わざわざ認知症を発症してから治療薬を飲むよりも、みかんの果皮を食素材として摂取することで同様な効果が期待できるのなら、むしろこちらの方が賢いのではないのでしょうか。